

授業科目名 <英訳>		インテークカンファレンス Seminar on Intake and Terminated Cases				担当者所属・職名・氏名		教育学研究科 教授 桑原 知子 教育学研究科 教授 皆藤 章 教育学研究科 教授 岡野 憲一郎 こころの未来研究センター 教授 河合 俊雄 教育学研究科 准教授 高橋 靖恵 教育学研究科 准教授 松下 姫歌 人文科学研究所 准教授 立木 康介			
配当学年	院	単位数	4	開講年度・開講期	2017・通年	曜時限	水2	授業形態	課題演習	使用言語	日本語
共用科目											
【授業の概要・目的】											
<p>本研究科附属心理教育相談室において新規に受理した相談申込事例、および終了した事例についての検討をおこなう。修士課程院生スタッフには、臨床心理士資格取得のための訓練が目的となり、すでに資格取得した者にとっては各々の臨床実践感覚を養うことが目的となる。</p>											
【到達目標】											
<p>心理臨床実践活動におけるインテーク面接(受理面接)に関する検討は、大変重要かつ必須の事項となる。クライアントへの加重負担を避け、いかにして適切な見立てをしていくかについて、全員の討議により学びを深める。</p>											
【授業計画と内容】											
<p>毎回の授業において、新規の相談事例の受理面接(インテーク)の概要を、担当スタッフから報告を受け、その内容について、見立て、心理査定、対応などの諸点から検討を行う。また、相談申込事例の終結、中断、リファーなどの場合、担当スタッフから随時報告を受け、その内容について確認する。全体として15回×2の授業を行い、そこにフィードバックを含める。</p>											
【履修要件】											
<p>相談申込を担当できるための心理臨床学の基本知識。 他研究科学生は履修不可。</p>											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
【評価方法】 出席状況と演習授業へのコミットメントをもとに総合評価する。											
【評価基準】 本演習独自の方法で、参加教員合議の上で、基準の設定を行う。 その他の評価は、到達目標について、教育学部の評価基準に従って行う。											
インテークカンファレンス(2)へ続く											

インテークカンファレンス(2)

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

(参考書)

授業中に紹介する

[授業外学習(予習・復習)等]

発表事例や討議をもとに各自の活動にフィードバックしていくことが課題となる

(その他(オフィスアワー等))

日本臨床心理士会が定める倫理規定を遵守すること。
本研究科附属心理教育相談室スタッフは、この演習授業に必ず出席しなければならない。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。